

ER/Studio Data Architect 16.0

– 必ずお読みください –

富士通エンジニアリングテクノロジー株式会社

このたびは、ER/Studio Data Architect (以下、ER/Studio DA) をご導入いただき、ありがとうございます。本書は、ER/Studio DA 16.0 をお使いになる前に、必ずお読みください。ER/Studio DA 16.0 を使用するための注意点は、次のとおりです。詳細については、各 URL またはリンク先を参照してください。

《ER/Studio Data Architect》

FAQ (よくある質問): http://www.jsys-products.com/support/faq/faq_erstudio.php

● バージョンアップについて

古いバージョンがインストールされたコンピューターに新しいバージョンをインストールするには、古いバージョンをアンインストールした後で、再起動して、新しいバージョンをインストールします。既存のモデル ファイル (.dm1) は、アンインストール前にバックアップすることをおすすめします。[368]

ER/Studio Repository をご利用の場合は、Repository もバージョンアップする必要があります。次頁の [ER/Studio Team Server] も併せて参照してください。

● 64 ビット アプリケーションについて

オペレーティング システムが 64-bit 版のコンピューターでは、ER/Studio DA 32-bit 版または 64-bit 版のいずれかを選択してインストールします。ER/Studio DA 32-bit 版と 64-bit 版は、同じコンピューターに共存できません。[398]、[399]

ER/Studio DA 64-bit 版からデータベースに接続するには、64-bit 版データベース クライアント ライブラリが必要です。[151]、[400]

● ライセンスについて

インストールした後で、オンラインまたはオフラインでライセンスをアクティベーションします。詳細な手順については、製品メディアまたは弊社 Web サイトにある『ER/Studio Data Architect ライセンスについて』を参照してください。[376]、[385]

ライセンスは、バージョンごとに発行されます。ER/Studio DA をバージョンアップする場合は、ご利用いただくバージョンに対応したライセンスを適用します。ER/Studio DA 32-bit 版と 64-bit 版では、同じライセンスを使用します。[374]、[399]

● インストールについて

製品メディアは、自動実行 (Autorun) しません。製品メディアの該当フォルダにある実行ファイル (.exe) をローカル ディスク (例: C ドライブ) にコピーしてから、ローカル ディスク上でインストールします。[386]

Windows 7 や 8 のようにユーザー アカウント制御 (UAC; User Account Control) が有効なコンピューターにインストールする場合、次の点に注意します。[366]

- ローカルの管理者ユーザーでログインして、.exe ファイルを右クリックして、[管理者として実行] を選択してインストールします。インストール後にコンピューターを必ず再起動します。
- ER/Studio DA を初めて起動する時は、ローカルの管理者ユーザーでログインして、ER/Studio DA を右クリックして、[管理者として実行] を選択して起動します。2 回目以降は、任意のユーザーで起動できます。

- モデル ファイルの開き方について

モデル ファイル (.dm1) をダブルクリックで開こうとすると、エラー メッセージ “プログラムにコマンドを送信しているときに、エラーが発生しました” が表示されることがあります。[387]

- SQL ファイルを利用したインポートおよび比較とマージについて

一部のデータベース プラットフォームでは、SQL ファイルをインポートするか、比較とマージのターゲットに指定するとエラーになることがあります。[389]、[390]

- Microsoft SQL Server のリバース エンジニアリングについて

Microsoft SQL Server データベース プラットフォームにおいて、リバース エンジニアリングで処理できない使用禁止文字があります。[403]

- Oracle のビュー オブジェクトについて

Oracle データベース プラットフォームにおいて、ビューの DDL 検証で一部の誤った構文が正しいと検証されます。[404]

- オートメーション インターフェイス ヘルプについて

オートメーション インターフェイス機能に特化したヘルプ (AIRef.chm) を公開しています。[371]

《ER/Studio Team Server》

FAQ (よくある質問): http://www.jsys-products.com/support/faq/faq_ersrepository.php

- ER/Studio Repository について

ER/Studio Repository は、ER/Studio Team Server (以下、Team Server) に含まれるようになりました。[411]

- 環境について

同じコンピューター上に複数の Team Server または Repository をインストールすることはできません。同じコンピューター上に Team Server と ER/Studio Data Architect をインストールすることはできません。Team Server は、64-bit 版のみ公開されています。このため、Team Server から Team Server 用のデータベースに接続するために、64-bit 版データベース クライアント ライブラリが必要です。[406]

- Team Server 用のデータベースについて

Team Server では、次のデータベースをサポートしています。

- Microsoft SQL Server 2008 ~ 2014
- Oracle 11g、12c (但し、データベース キャラクタ セットが “SJIS” であること)

《その他のユーティリティ》

ER/Studio 製品について、メンテナンス契約が有効な期間中は、ユーザー登録をすることで、次の便利なユーティリティを無償でご利用いただけます。ユーティリティは、32-bit アプリケーションにのみ対応しています。

- ER/Worksheet: <http://download.jsys.co.jp/download.php?dlid=113>

Microsoft Excel と ER/Studio DA を連携する Excel アドインです。

- Naming Utility: <http://download.jsys.co.jp/download.php?dlid=17>

ユーザーが作成した用語辞書を基に、ER/Studio DA の論理および物理名称を自動変換する命名ツールです。

以上